

「補う」から「量産させる」へ

次世代アンチエイジング

リンゴ幹細胞エキス

Uttwiler Spätlauber

品種：スイス産 ウトビラースパトラウバー

Keiz

この商品説明書に記載された表現は、薬事法・化粧品表示公正競争規約等に基づく、化粧品・医薬部外品として認められた効能効果を示すものではありません。添付文書・バックコピー・広告等の作成時には効能効果等の表現にご注意下さい。また、当資料の再配布・情報の流用はお控えください。

リンゴ幹細胞とは？

収穫後4ヶ月腐らない奇跡のリンゴ「ウトビラー・スパトラウバーの樹」から抽出した細胞です。

このリンゴには植物栄養素、タンパク質、**長寿細胞**が豊富に含まれています。

通常のリンゴとは違う、特徴的な栄養組成が卓越した長期保存と長寿の特性の要因と考えられています。

表皮幹細胞を守る

ヒトと異なり、植物細胞は全能性、すなわち全ての細胞が葉、花、タネといった新組織の細胞に変化でき、植物全体でさえも複製が可能です。さらに、すべての植物細胞は脱分化して幹細胞になることもできます。

由来にかかわらず、全ての幹細胞はエピジェネティックファクターと呼ばれる特定の栄養素を含みます。その栄養素の働きは、**幹細胞の自己再生能力を維持すること**です。

これまでは

ハリ感・うるおいが足りなければ・・・コラーゲンやヒアルロン酸

シミを予防したければ・・・アルブチン、コウジ酸など・・・

高ければ効くの？

あれもこれも気になるから、いろいろ試してみよう・・・。

これからは

減少したものを補填していくという対処療法ではなく、

細胞を活性化し、本来肌が作り出すことができる天然保湿成分を自ら作り出すことができる状態に戻す、根本的なケアを目指します。



ウトビラー・スパトラウバーの樹
(スイス)



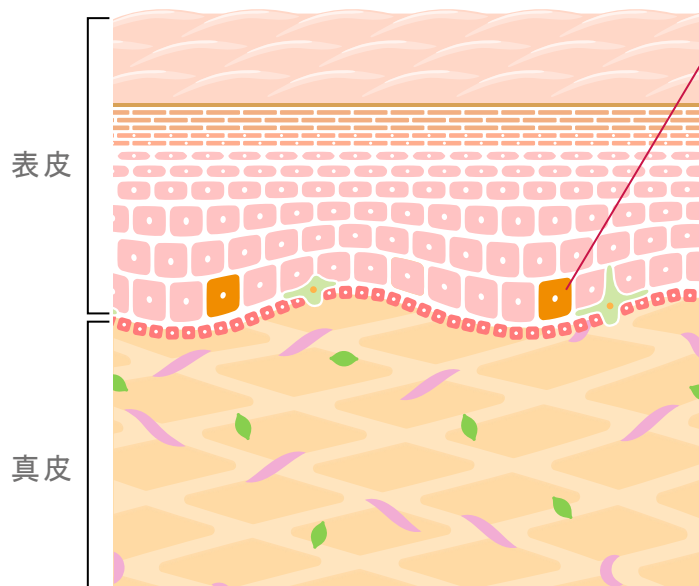
目的は 表皮幹細胞の長寿化

表皮幹細胞

- ・ 基底層全体の2~7%
- ・ 表皮の基底層に位置

【役割】

皮膚組織の細胞バランスを維持し、補充する。
ターンオーバーの周期をつかさどり、表皮を生まれ変わらせる。
真皮細胞にシグナルを発し、真皮のヒアルロン酸を生成する。



表皮幹細胞や真皮幹細胞などの細胞の増殖や分化を調整する生体物質は、年齢とともに減少していきます。

リンゴ幹細胞エキスが表皮幹細胞を保護し、老化を遅延することで、

結果しわ、たるみの表面化を予防。

肌の若々しさを保ち、ピンとハリのある肌に導きます。



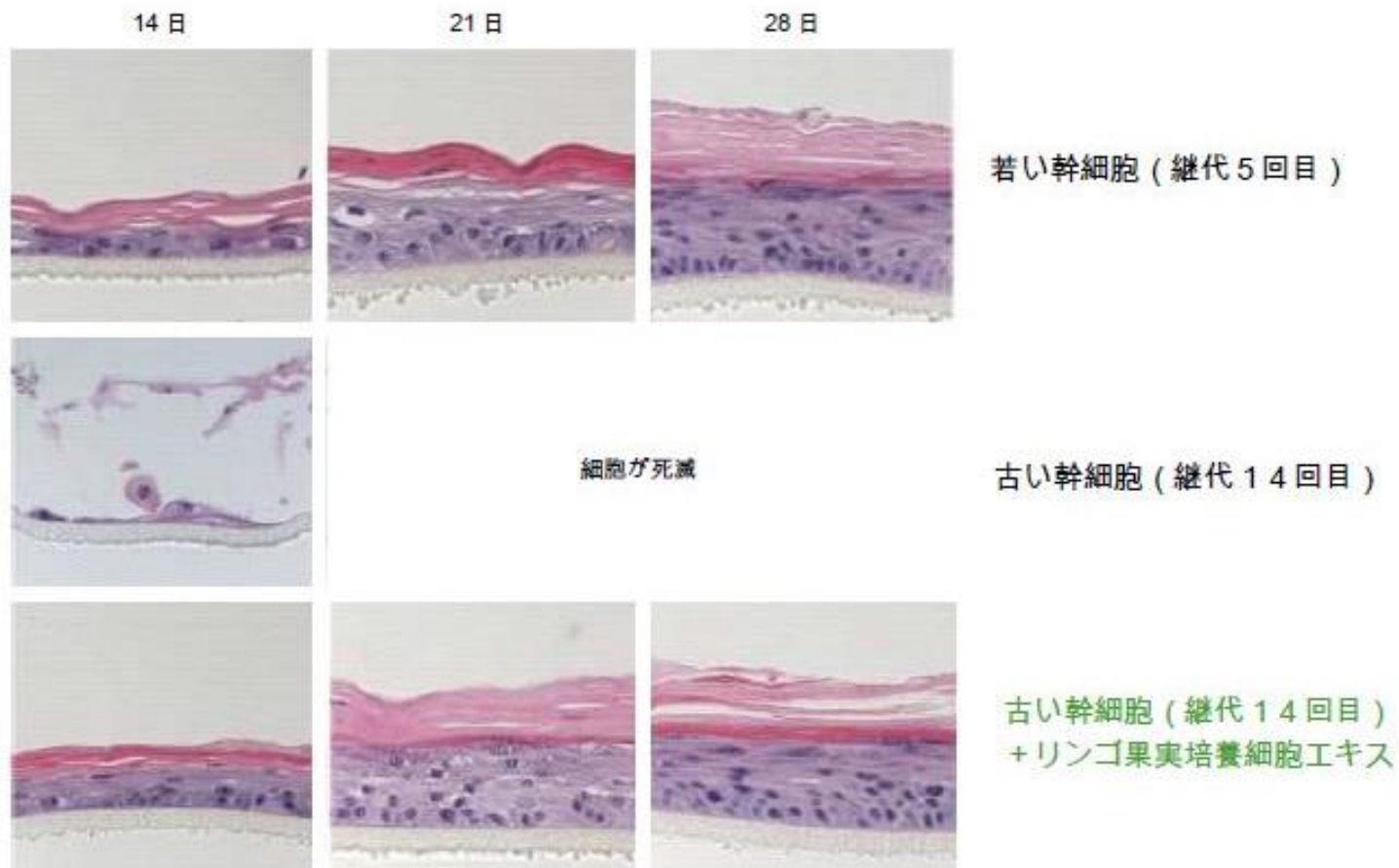
3次元培養皮膚モデルの形成に対する効果

試験内容

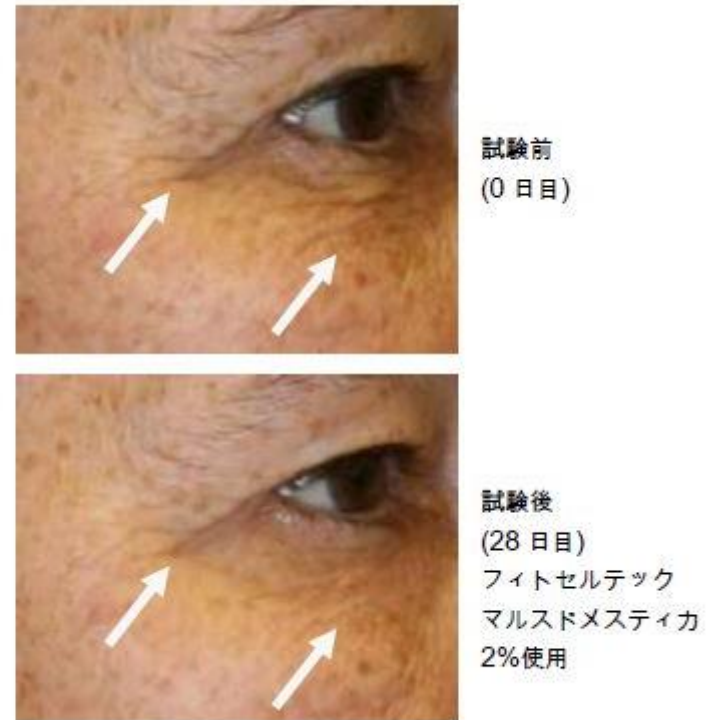
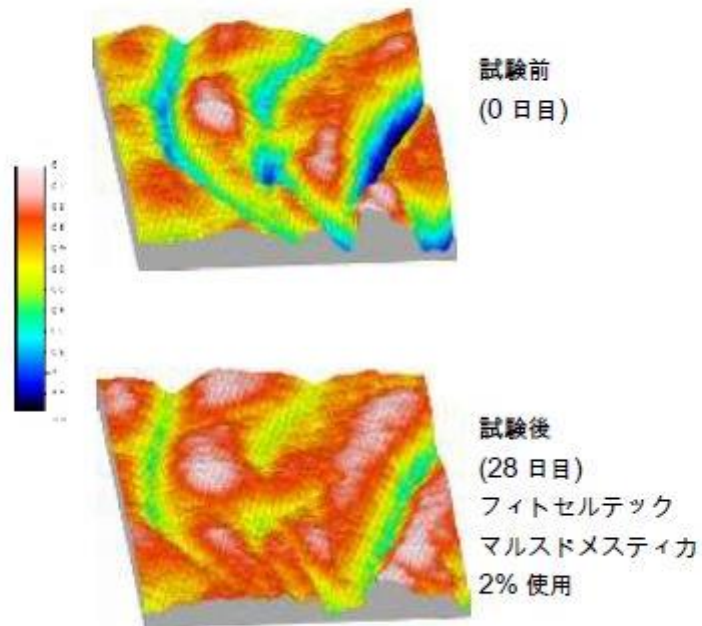
継代数の少ない（若い）表皮前駆細胞と継代数の多い（つまり老化している）表皮前駆細胞によって形成された3D表皮の比較

試験品

- 試験物質なし(コントロール)
- 0.01%リンゴ幹細胞エキス



目じりでの抗しわ効果



リンゴ幹細胞エキスの抗しわ効果は、37-64歳の20名の被験者で評価されました。エキスを2%含む乳液を1日2回28日間目じりに塗布。しわの深さはPRIMOS (phase-shifting rapid in vivo measurement of skin)により測定しました。

結果として、全ての被験者において目に見えるしわの深さが有意に減少しました。